

# 市議会だより



発行 伊東市議会 議長 宮崎雅薫  
編集 議会報編集委員会  
伊東市議会事務局  
電話32-1981(直通)FAX38-6916

大室山



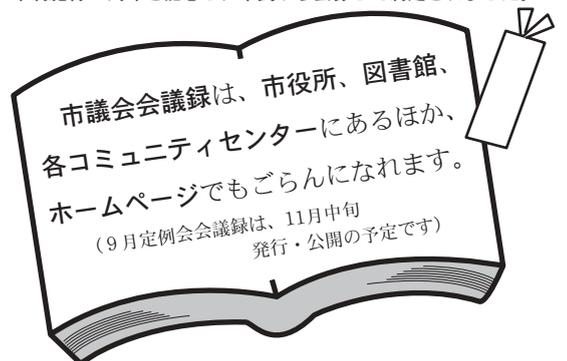
市民の負託を受け4年間の任期に臨む  
第18期市議会議員20人

表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。  
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 新議会構成……………【P.2】
- 臨時会の概要……………【P.4】
- 9月定例会の概要……………【P.5】
- 決算大綱質疑（7議員が登壇）……………【P.8】
- 常任委員会だより……………【P.11】



市議会会議録は、市役所、図書館、  
各コミュニティセンターにあるほか、  
ホームページでもごらんになれます。  
(9月定例会会議録は、11月中旬  
発行・公開の予定です)

# 新 議 会 構 成 決 定

正副議長の選挙、各常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任を行いました。

## 正 副 議 長



第67代副議長  
榎本元彦



第72代議長  
宮崎雅薫

# 臨時会

第一八期市議会議員選挙後の初議会となる臨時会を一〇月一三日に開会しました。



委員  
稲葉富士憲



委員  
井戸清司



副委員長  
重岡秀子



委員長  
長沢 正



委員  
山口嘉昭



委員  
鈴木克政



委員  
中島弘道

## 常任総務委員会

企画部、総務部、市民部、消防本部の所管に属する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項を審査します。

## 議会運営委員会

定例会、臨時会の会期及び議案審議予定に関すること、議員提出議案、請願書、陳情書、動議の取り扱いに関すること、議会関係人事案件に関すること、議会関係例規の制定改廃に関すること、各種の儀礼に関すること、議会図書室に関すること、議長の諮問に関すること、その他議会運営に関することを協議します。

委員長 井戸清司  
副委員長 稲葉富士憲  
委員 佐山 正  
" 稲葉 正 仁  
" 長 沢 正  
" 四 宮 和 彦

## 市議会内 会派の結成

平成二十七年一〇月一三日現在

新しく構成された市議会に次のとおり五つの会派が結成されました。

**常任観光建設委員会**

観光経済部、農業委員会、建設部、上下水道部の所管に属する事項を審査します。



委員  
青木敬博



副委員長  
鳥居康子



委員長  
佐山 正



委員  
横沢 勇



委員  
四宮和彦



委員  
榎本元彦

**常任福祉文教委員会**

健康福祉部、教育委員会の所管に属する事項を審査します。



委員  
土屋 進



副委員長  
浅田良弘



委員長  
稲葉正仁



委員  
杉本一彦



委員  
佐藤龍彦



委員  
篠原峰子

◎ 〓 会派代表者、

会派構成議員は議席順)

■ 正風改革クラブ

宮崎雅薫 議員  
青木敬博 議員

佐山正 議員

◎ 井戸清司 議員

土屋進 議員

■ 自民・絆

中島弘道 議員

榎本元彦 議員

◎ 稲葉富士憲 議員

稲葉正仁 議員

■ 公明党

鳥居康子 議員

篠原峰子 議員

◎ 長沢正 議員

■ 民主党・刷新の会

四宮和彦 議員

◎ 鈴木克政 議員

浅田良弘 議員

■ 日本共産党

佐藤龍彦 議員

◎ 重岡秀子 議員

□ いずれの会派にも属して

いない議員

杉本一彦 議員

山口嘉昭 議員

横沢勇 議員

## 臨時会で審議した議案等



議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第22号	伊東市立幼稚園保育料等徴収条例	平成28年4月1日から市立幼稚園を子ども・子育て支援制度に適合させることに伴い、保育料について、これまでの定額制から応能負担制に移行するとともに多子軽減措置を導入するなどの改正を行う。	市長	賛成多数で可決
市議第23号	平成27年度伊東市一般会計補正予算（第3号）	移住促進のための動画作成に係る委託料、アンテナショップ事業の期間延長のための委託料、本市の魅力を一元的に発信する情報誌を発行するための補助金など1,000万円の追加	市長	全会一致で可決
市選第4号	監査委員選任の同意について	土屋進氏（議員のうちから選任する委員）	市長	全会一致で同意
発議第7号	前正副議長に感謝状の贈呈について	鳥居康子前議長、井戸清司前副議長の在任中の功績に対する感謝状の贈呈	議員8名	全会一致で可決
発選第2号	議長選挙	投票の結果、宮崎雅薫議員11票、鈴木克政議員8票で、宮崎雅薫議員が当選しました。	議長	—
発選第3号	副議長選挙	投票の結果、榎本元彦議員10票、横沢勇議員3票、井戸清司議員1票、無効5票で、榎本元彦議員が当選しました。	議長	—
発選第4号	議会運営委員会委員の選任	2ページを参照してください。	議長	—
発選第5号	常任委員会委員の選任	2、3ページを参照してください。	議長	—
発選第6号	農業委員会委員補欠推薦について	井戸清司氏、浅田良弘氏	議員8名	全会一致で推薦

本会議で  
行なった討論  
(概要)

■伊東市立幼稚園保育料等  
徴収条例

《反対》杉本一彦議員

この条例改正の審議に当り、本市の子育てに係る制度や支援体制等の環境がどのように変化していくのか、将来を見据えた丁寧な説明が不可欠であるが、まだ説明不足、議論不足である。

このような状況では、単なる保育料の増額にしか感じられず、真の少子化対策、子育て支援策にはならないと考え、反対する。

《賛成》重岡秀子議員

この条例による保育料の所得基準導入は、低所得者や多子家庭には有利だが、実質値上げになる家庭があることは大きな問題である。

しかし、午後の預かり保育を充実させていくという方向性が出されたことは画期的であり、保護者のさまざまな願いに耳を傾け、幼稚園の改革がされることを期待して賛成する。

# 平成27年9月定例会

## 平成26年度

### 一般会計・特別会計・企業会計決算を認定

9月定例会を8月27日から9月9日までの14日間の会期で開会しました。

#### 平成26年度 決算概要説明 (要旨)

平成26年度一般会計当初予算は、消費税増税による影響が不透明な状況にある中で、健全財政の定着を図りつつ、市民幸福度向上を目指し、市民と行政が協働し、知恵を出し合い、未来を見据えたまちづくりを進めていくための経営方針として、『未来協知』の実践』を掲げ、歳出においては、四五の事業を縮小、廃止することで経費節減を図る一方、学校給食センター建設事業等の新規事業にも着手することとした。その結果、一般会計の予算規模は、前年度を一・六%下回る二三六億六〇〇万円とし、その後、七回にわたる補正を行い、最終予算規模を二六九億八四五六万九〇〇円とした。

一般会計における歳入決算額は二六七億三三二四万円、対前年度伸び率は一・五%となり、自主財源では、大きな比重を占める

市税が予算現額を〇・九%上回り、対前年度比でも一・四%増加している。

歳出決算額は二六〇億一九六一万三〇〇円で、対前年度伸び率は一・八%となり、経常経費において、人事院勧告を反映して期末勤労手当の支給率が増加した人件費が一・八%、消費税増税に対する低所得者層支援のための臨時給付金事業等を実施した扶助費が八・一%前年度から増加したものの、高利率の地方債の償還が進んだことにより、公債費が二・八%減少した。

投資的経費については、普通建設事業費において、介護老人福祉施設等整備に係る補助金や、四力年継続事業の最終年度となった環境美化センター更新改良整備事業が減額となったものの、繰越事業である西小学校屋内運動場耐震補強事業や、消防救急広域化に伴うデジタル無線整備負担金、

さらには学校給食センター建設に係る実施設計業務及び関連施設整備事業等を実施したことにより、対前年度比で一〇・〇%増加した。

歳入歳出差引額は、七億一三五二万七〇〇円となり、ジオパーク推進事業や地域住民生活等緊急支援のための交付金事業などの繰越明許により、翌年度へ繰り越すべき財源一億四九一七万円を差し引いた実質収支額は、前年度を一八・九

%下回る五億六四三万七〇〇〇円となった。

本市の財政は、これまで一貫して継続してきたさまざまな改革への取り組みにより、適正とされる規模の黒字を確保するとともに、財政調整基金や減債基金への積み立てなど、将来の負担に対する財源の確保も図られてきており、健全化判断比率等の財政指標からも、その健全性を維持できているものと判断している。

#### 平成26年度 一般会計・特別会計・企業会計決算

◎全会一致で認定 ○賛成多数で認定

会計別	区分	歳入		歳出		審議結果
		決算額(円)	収入率(%)	決算額(円)	執行率(%)	
一般会計		26,733,140,256	99.07	26,019,613,073	96.42	◎
特別会計	下水道事業	2,019,299,421	99.16	2,000,631,431	98.25	◎
	競輪事業	17,961,055,641	97.73	17,829,912,009	97.02	○
	国民健康保険事業	11,375,261,650	99.44	10,775,384,940	94.20	◎
	土地取得	119,461	51.94	31,315	13.62	◎
	霊園事業	83,808,484	86.82	83,701,905	86.71	◎
	介護保険事業	7,101,521,270	98.85	7,008,118,783	97.55	◎
	介護老人保健施設	85,782,353	100.10	85,561,632	99.84	◎
	後期高齢者医療	1,663,688,395	99.31	1,645,703,268	98.24	◎
合計		67,023,676,931	98.74	65,448,658,356	96.42	—

会計別	区分	収入		支出		審議結果	
		決算額(円)	収入率(%)	決算額(円)	執行率(%)		
企業会計	病院事業	収益勘定	383,281,522	100.02	441,878,912	99.44	◎
		資本勘定	46,457,000	100.00	89,744,721	100.00	
	水道事業	収益勘定	1,739,125,705	99.65	1,708,440,931	97.05	◎
		資本勘定	314,202,240	100.39	1,040,311,848	98.02	



# 平成27年9月定例会

## 27件の議案等を審議、決定



### ■市議会 9 月定例会で審議した議案等

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市報第2号	平成26年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の「健全化判断比率」の報告及び病院事業会計、水道事業会計、下水道事業特別会計について「資金不足比率」の報告	市長	報告、質疑のみ
市議第8号	伊東市個人情報保護条例の一部を改正する条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（いわゆる番号法）の施行に伴い、個人番号をその内容に含む個人情報である特定個人情報については、利用制限や提供制限など、より厳格な保護措置を講じるための条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第9号	被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行により、共済年金が厚生年金に統一されることに伴い、伊東市職員等退職手当支給条例及び伊東市職員の再任用に関する条例において引用している地方公務員等共済組合法を厚生年金保険法に改めるための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第10号	伊東市手数料徴収条例の一部を改正する条例	いわゆる番号法の施行に伴い、個人番号通知カード及び個人番号カードの再交付手数料をそれぞれ500円、800円と定めるための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第11号	伊東市重度障害者デイサービスセンターひだまり条例の一部を改正する条例	指定管理者の更新に伴い、当該施設の管理運営方法を一部変更し、これまで休館日としていた国民の祝日を開所するとともに、利用料金制を導入するための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第12号	伊東市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	介護保険法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴い、認知症対応型通所介護では、利用定員の見直しや夜間及び深夜のサービスを実施する場合の運営基準の厳格化、小規模多機能型居宅介護では、看護職員の配置要件や他の訪問看護事業所等との連携、認知症対応型共同生活介護ではユニット数の見直し、複合型サービスでは、サービス名称の変更や登録定員等の緩和などを定めるための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第13号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	地方税法施行令等の一部を改正する政令及び地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、基礎課税額、後期高齢者支援金等課税額、介護納付金課税額に係る賦課限度額をそれぞれ引き上げるとともに、金融商品に係る損益通算範囲の拡大、公社債等に対する課税方式の変更などを行うための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第14号	伊東市駐車場条例の一部を改正する条例	伊東市なぎさ観光駐車場の出入庫の自動化に伴い、供用時間を午前0時から午後12時までに延長し、1回の利用における24時間ごとの最高限度額を1,500円とする使用料見直しのための条例改正	市長	賛成多数で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第15号	平成26年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	水道事業会計未処分利益剰余金の全額を資本金に組み入れるための地方公営企業法の規定に基づく議決	市長	全会一致で可決
市議第16号	平成27年度伊東市一般会計補正予算（第2号）	市内の経済状況を勘案して、住宅リフォーム振興事業補助金や、公共施設の小規模修繕を中心とした緊急経済雇用対策事業などの計上、避難所に太陽光発電設備や備蓄用食料などを配備する経費の追加、個人番号制度に対応するためのシステム改修経費などの追加、財政調整基金、減債基金への積み立てなど、5億6,364万7,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第17号	平成27年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	一般被保険者の療養給付費などの増額、精算による前年度分の国庫支出金返還金の計上など3億7,899万8,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第18号	平成27年度伊東市霊園事業特別会計補正予算（第1号）	側溝や歩道の修繕料、霊園整備基金への積立金など834万2,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第19号	平成27年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	地域支援事業に係る国県補助金の清算分を基金に積み立てるための積立金や、介護給付費等に係る国県支出金等の返還金の計上など9,662万4,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第20号	平成27年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	平成26年度分の後期高齢者医療保険料負担金の追加など1,798万4,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第21号	伊東市学校給食センター建設工事請負契約の締結について	契約金額：11億9,340万円 契約の相手方：斉藤・塩地特定建設工事共同企業体	市長	賛成多数で可決
市認第5号 ～ 市認第15号 市選第3号	平成26年度伊東市一般会計歳入歳出決算、8特別会計歳入歳出決算、2企業会計決算 公平委員会委員選任の同意について	※5ページをごらんください。 田中慈康氏（芝町）再任	市長	※5ページをごらんください。 全会一致で選任に同意

本会議で  
行なった討論  
(概要)

■伊東市学校給食センター建設工事請負契約の締結について

《反対》森 篤議員

速やかな事業執行の前提条件として、公金は適正に支出されるべきである。

一回目の入札が不調に終わったことから、単価を上げるなどして、二回目の予定価格を九〇〇〇万円も上げた上で落札させている。一回目と二回目の入札の間は一カ月ほどであり、単価を上げるほどの社会的な要因があったとは考えられない。したがって、適正な積算という観点から反対する。

《反対》重岡秀子議員

資材等が高騰している状況下で、入札予定価格を直前に見直すこともできた。それにもかかわらず、この価格でできると考え、入札を執行したならば問題である。事業者は、賃金カット等を余儀なくされるわけであり、行政として、しっか

り計算した予定価格を出す  
ことが必要である。

今回の当局の説明では、  
この積算を理解することが  
できないため、給食センタ  
ー建設は重要な事業と認識  
しているが、反対する。

■伊東市個人情報保護条例  
の一部を改正する条例

《反対》重岡秀子議員

マイナンバー法の施行に伴う必要な措置を講ずるための条例改正と理解するが、改正法は、日本年金機構の情報流出問題により、一〇月の施行目前、九月三日に成立したため、庁舎内の共通理解も十分でなく、個人情報流出の危険性に対する十分な検討など、提案に至った過程も不明確である。

国民の支持や理解が広がらないマイナンバー法は、  
急ぐ必要がなく、国に延期  
や中止を求めるときと考え、  
反対する。

■伊東市駐車場条例の一部  
を改正する条例

《反対》重岡秀子議員

なぎさ観光駐車場を自動化し、二十四時間対応とす

ることでは利便性が高まる点は理解するが、一時間を超える部分について二倍の額となることや一日の最高限度額を八五〇円から一五〇〇円に引き上げる点については、利用者の負担がふえることから賛成できない。また、市民の文化活動の拠点である観光会館の利用に影響が出ることが懸念され、文化活動の支援という観点からも問題があると考えられることから、反対する。

■平成二十六年伊東市競輪事業特別会計歳入歳出決算

《反対》杉本一彦議員

競輪事業などの公益事業の本来の目的は、社会福祉や教育施設整備等の財源確保である。本決算においては、累積赤字を解消し、一五年ぶりとなる一般会計へ一二〇〇万円の繰出金はあるものの、残り約一億三〇〇〇万円の黒字分は翌年度に繰り越されており、本事業で背負うリスクに対し、市民が恩恵を享受できる一般会計への繰出金額が余り

に少ない。したがって、本事業の真の目的を果たそうという意思があるように感じられないため、反対する。

■平成二十六年伊東市一般会計歳入歳出決算

《賛成》森 篤議員

本決算を、認定する。あわせて次のとおり事業執行の改善を求める。地域防犯灯は、インフラ整備の視点から、行政の責任で設置すべき。自治体経営の戦略の質は、職員的能力によるため、実戦経験をより有効活用すべく、戦略論等を学ぶ研修を検討すべき。職員の健康維持の観点から、一層労働環境の改善を工夫すべき。

緊急経済雇用対策事業は、より効果的な支出につなげるため、可能な限り、具体的な経済効果を測定すべき。

《賛成》正風改革クラブ

厳しい財政状況の中、財政調整基金及び減債基金を積み立て、競輪事業の繰上充用を解消し、各種大型事業に着手したことは、企業の英知を結集した行政経営

であるとして、評価する。ふえ続ける扶助費や厳しい社会情勢の中、引き続き自主財源の確保に努め、市民と行政の協働により、いとう8Kの各種施策を推進することで課題解決に取り組むよう切望する。協働の理念と行動のもと、未来協知の実践の進化を期待し、賛成する。

《賛成》重岡秀子議員

低迷していた市税収入は一・四％増加し、減少傾向に歯どめがかかるとともに、中学校給食の完全実施に向けた取り組みや教育支援事業の大きな前進、高齢者肺炎球菌予防接種の定期化などについては評価する。

一方で、財政調整基金の積み増しよりも、市民サービス向上や産業振興などへの効果的な施策が必要である。優先順位を定めた投資計画を策定すべきであるが、課題山積の中、市民福祉の向上に全力で取り組む市政運営に期待し、賛成する。

# 決算大綱質疑

4会派及び会派に所属していない2議員が質疑／決算概要説明及び各会計決算に係る議案について

(所属議員の人数に応じて質疑順に掲載)

◎=会派代表者、会派構成議員は議席順。質疑された議員は、太字・網かけ

■正風改革クラブ

- ・浜田修 一郎議員・榎本元彦議員
- ・佐山 正議員・井戸清司議員
- ◎佐々木 清議員・西島 彰議員
- ・宮崎雅薫議員・土屋 進議員

(佐々木 清議員) 循環型社会形成に向けた取り組みについて、以下二点伺う

- 一 ごみの減量・再資源化の推進に係る取り組みとその成果
  - 二 新車庫建設用地造成工事請負費に係る進捗状況と今後の展望
- 一 前年度と比べ、ごみの総搬入量は約一・六七％減量化された
- 二 平成二十六年までに敷地造成工事を終えた

市長

ごみの減量・再資源化の推進については、ごみフェスティバルなど、さまざまな機会を捉え、ごみの減量・再資源化について広報・啓発活動を行うとともに

に、本年一〇月から開始を予定している廃ペットボトルのステーション収集や使用済み小型家電の拠点収集など分別収集を進めており、また、家庭用生ごみ処理容器の設置補助や、資源ごみ集団回収奨励事業への報奨金を交付してきた。

これらの取り組みの結果、伊東市におけるごみの総搬入量は、平成二六年度は三万三九八一トンとなっており、前年度に比べ、五七七トン、約一・六七%が減量化されたところである。

また、新車庫建設用地造成工事に係る進捗状況については、平成二六年度までに敷地造成工事を終えたところである。

今後については、収集業務の民間委託化についても考慮する中、具体的な施設規模等について、検討を重ねた上で実施設計を進めていく。

『その他の質疑』

■財政調整基金積立金の状況と積み立てに係る考え方について ほか九項目

(浜田修一郎議員)

競輪事業特別会計及び霊園事業特別会計に關し、以下二点伺う

一 競輪事業特別会計に關し、平成二六年度に累積赤字を解消、一般会計への繰入金を計上しているが、その要因をどのよう

に分析しているか伺う

二 霊園事業特別会計に關し、平成二六年度建設の芝生墓所一四四区画の募集状況について及び墓所管理料の収入未済額の発生原因について伺う

一 特別競輪等の売り上げが好調であったこと、協力金収入の確保や開催経費の削減に努めたことによる

二 募集状況は一〇五区画の使用を許可、収入未済額発生の原因は経済的困窮や継承者が確定していないための未納

市長

競輪事業特別会計について、平成二六年度において、

特別競輪である第三〇回共同通信社杯やFIIナイター開催の売り上げが好調であったことや、二六二日間の引き受け場外による協力金収入の確保や開催経費削減に努め、収益の増加を図ったことが、一般会計に繰り出しを行うことができた要因である。

今後についても、競輪事業全体の改善が必要であると考えているので、関係機関とも協議を行い、制度見直しに取り組んでいく。

霊園事業特別会計について、平成二六年度整備の芝生墓所の募集は、昨年一〇月に八四区画の使用許可、本年三月に残り六〇区画を再募集、二一区画の使用許可をしており、合計一〇五区画の使用を許可した。

収入未済額は、二九区画分、原因は経済的困窮や継承者が確定していないための未納が主な原因である。

『その他の質疑』

■下水道事業特別会計に關し、下水道の普及状況について ほか六項目

■民主党・刷新の会

・四宮和彦議員◎鈴木克政議員  
・浅田良弘議員

鳥獣害防止対策に關し、以下四点伺う

一 鳥獣害対策に係る事業の内容及びその成果について

二 鳥獣被害の現状について

三 把握する鳥獣の頭数及びその傾向について

四 今後の対策について  
各種補助等を行い被害防止に努めたが、頭数は増加傾向にあり、駆除と防除の両面から対策を講じていく

市長

一 捕獲報奨金や狩猟免許取得費用の補助、捕獲器や防護柵整備に係る支援、猟友会へのデジタル簡易無線機等の貸与を行った。

また、臨時職員二人を雇用し、被害の実態調査及び箱わなによる捕獲を実施し、被害防止に努め

た。

二 イノシシやヒヨドリ等による農作物被害が通年で発生、平成二六年度の被害金額は約五五〇万円

三 県の統計で平成二五年現在、二ホンジカの伊豆地域の推定生息頭数は約

一万八八〇〇頭と前年より八〇〇頭増加、イノシシは生息分布域の拡大、

捕獲頭数の増加、被害額の推移等から増加傾向にあるものと考えている。

四 県や関係機関と連携を図り、駆除と防除の両面から対策を講じていく。

『その他の質疑』

五項目

■輝21

・稲葉正仁議員・稲葉富士憲議員  
◎三枝誠次議員

本市の観光産業の状況について伺う

観光産業について、宿泊者数は対前年度で増加したものの、来誘客全体では前年を下回るなど、観光を基幹産業とする本市にとって

は、依然として厳しい状況が続いているとのことだが、この要因をどのように分析しているか。また、本市の観光産業の状況をどのように分析しているのか。

各種の統計などから明らかな見え始めていると分析している

市長

対前年で推定来遊客数が減少した要因は、算出方法が考えられ、今後、新東名長泉沼津ICや伊豆縦貫自動車道の通過台数を参考にするとともに、本市への流入車両の計測カウンターの設置を検討していく。

また、来誘客数の現況については、平成二六年を除き、年々減少傾向にあることから、依然として厳しい状況が続いているものと認識している。

一方、外国人観光客が大きく増加傾向にあり、また、国内旅行者の宿泊単価や、伊東マリンタウンの来場者一人当たりの消費額も向上しているとの報告もあるこ

とから、本市観光産業には明るい兆しが見え始めているものと分析している。

『その他の質疑』 八項目

■公明党

・鳥居康子議員・長沢 正義員

◎楠田一男議員

「やさしさと笑顔にあふれる健康なまち」に係る事業から障害者福祉・高齢者福祉・児童福祉の展望を伺う

本市では第三次伊東市障害者計画、第七次高齢者福祉計画、伊東市子ども・子育て支援事業計画を策定、展開しているが、平成三七年には対平成二二年比で総人口が減少、老年人口が増加すると予想されていることや、近年、子育てをめぐる環境が複雑化していることと鑑み将来の展望を伺う。

地域福祉の充実に努めていく

市長

障害福祉については、地

域の中で自立し、安心して暮らせる社会の実現のため、身近で相談できる場所の確保・充実と、毎年のように変わる制度の周知及び確実で迅速な対応、関係施設への情報提供を進めていく。

高齢者福祉については、たとえ要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を可能な限り送ることができるよう、「地域包括ケアシステム」の構築を進めていく。

児童福祉については、子供が健やかに育つよう、子育て支援や保育の充実に取り組んでいるが、今後、一層子供を産み、育てやすい環境整備に努め、少子化対策を進めていく。

『その他の質疑』 五項目  
森 篤議員  
(会派に所属していない)

平成二六年度予算の所信表明に「スポーツツーリズムの推進」とあるが、その成果、効果を伺う

市長

プロゴルフトーナメントへのタイアップ、全日本まぐら投げ大会の開催等、観光資源とスポーツを融合した施策を進め、台湾から約六〇〇人がウオーキングツアーを開催するなど、着実に推進が図られているものと認識している。

『その他の質疑』 二項目  
重岡秀子議員  
(会派に所属していない)

病院事業会計について、回復期リハビリテーション病棟の実績と病院経営に及ぼす影響について伺う

市長

平成二六年度は通年稼働したことにより、病棟の延べ入院患者数は前年より六九〇七人ふえている。

入院患者数の増加は、入院収益の増収につながり、病院の決算からみても、安定的な経営がなされていると判断している。

『その他の質疑』 四項目

閉会中の  
議会活動

平成27年



※平成27年6月定例会閉会後  
平成27年10月臨時会開会まで

- 7月 9日 議会報編集委員会
- 8月 7日 常任観光建設委員会協議会
- 8月17日 常任福祉文教委員会協議会
- 8月21日 議会運営委員会
- 10月 1日 議員行政研究会（執行機関）
- 10月 2日 "（市内各施設の視察・議事機関）
- 10月 7日 全員打合せ

# 常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、11月中旬発行予定の9月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください。

## 総務委員会

問

国民健康保険事業特別会計における一般会計からの法定外繰り入れに係る考え方を伺う。

答

急な保険給付の増加に備え、保有している国民健康保険給付等支払準備基金により、歳入の不足を補うのか、低所得の被保険者が多いという構造上の問題を踏まえ、法定外の一般会計繰入金により対応するのかは、その時々の財政状況による。

問

本市における救急出動の特徴を伺う。

答

人口比率としては、13万都市に匹敵する救急出動件数であるが、70％程度は市民の利用であり、さらにその70％ぐらいが高齢者の方の利用であることから、引き続き、救急車の適正利用について、市民への啓発を図っていきたい。



救急車の適正利用を！

## 観光建設委員会

問

デマンド型乗り合いタクシーについて、利用対象者及び予約方法を伺う。

答

観光客を含め、誰でも利用可能。時間帯は、10時台、11時台、13時台の1日3往復6便を予定。最寄りのバス停の時刻表に通過時刻を明記する。予約方法は、予約する便の利用日の2日前から発車時刻1時間前までに、委託先であるタクシー会社へ申し込んでいただき、バス停から乗車しての利用となる。

地域と協議を重ね決定したことであり、周知に努め、1年間実証し、柔軟に対応したい。



デマンドタクシー出発式

問

なぎさ観光駐車場の24時間無人・自動化に伴う防犯・安全対策について伺う。

答

防犯カメラを設置するとともに、24時間対応の警備会社と連携して対応する。

## 福祉文教委員会

問

重度障害者デイサービスセンターひだまりの休日の開所をふやすよう検討してはいかがか。

答

条例改正により祝日を開所することとなるが、本市の産業形態を勘案し、年末年始等の開所についても指定管理者と協議していく。

問

書道教育推進事業の教育効果及び検証について伺う。

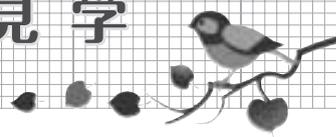
答

小学校1、2年生対象の事業であるが、落ちついた雰囲気の中で、講師の指示に従い一文字一文字丁寧に書くことで、話を聞く、姿勢を正す、心を落ち着けて授業に取り組む等、ほかの授業では見られない様子があり、それが教育効果であると感じている。



小学校1、2年生を対象とした書道教育推進事業

# 議 場 見 学



富戸小学校（9月17日）と  
八幡野小学校（10月14日）の  
3年生が議場見学を訪れました。  
説明の際、自由に着席してもらったところ、  
一番人気があったのは議長席でした。

## 富戸小



## 八幡野小



# 新議員 行政研究会

今後議員活動を行う上において必要となる基礎的事項に関し理解を深めていただくため、初当選した議員を対象に、議員行政研究会を実施しました。

（一〇月一日）

## ■執行機関の概要説明

（一〇月二日）

## ■市内各施設の視察

玖須美保育園く競輪場く  
環境美化センターく門野中

学校（学校給食）く消防庁  
舎く伊東市児童・身体障害  
者福祉センターはばたき  
■議事機関の概要説明



消防庁舎



門野中学校

## 12月定例会の予定

# 12月2日(水)開会

※日程等は、11月下旬の議会運営委員会  
において正式に決定します。

## 編 集 後 記

九月二〇日に行われた市議会議員選挙に伴い、今号は九月定例会、一〇月三日開会の臨時会の合併号として、一カ月おくれでの発行となりました。

第一八期二〇人での議会活動がスタートし、新たに構成された議会報編集委員会での最初の編集となりましたが、今後も、開かれた議会を目指し、さらにわかりやすくお伝えできるように心掛けていきますので、よろしくお願いたします。

（委員長）

### 議会報編集委員会

- |      |      |
|------|------|
| 委員長  | 四宮和彦 |
| 副委員長 | 中島弘道 |
| 委員   | 青木敬博 |
| ”    | 篠原峰子 |
| ”    | 佐藤龍彦 |

### 市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ

伊東市大原二丁目一番一号

TEL (三三) 一九八一

FAX (三八) 六九一六